

現地
参加者の
集合写真

特集

4

第8回 皮膚科サマースクール
2023を終えて

サマースクール2023について

海の日を含む連休、やや曇り空ではありましたが、すでに猛暑であった東京とは異なる過ごしやすい札幌において、第8回皮膚科サマースクール（2023年7月16～17日）を開催することができました。全国の初期研修医を対象に、皮膚科の楽しさ、奥深さをお伝えし、将来、皮膚科医になりたい！とってくれる方が一人でも増えることを期待した本企画ですが、新型コロナウイルス感染症を機にさらに発展を遂げ、昨年からハイブリッド開催となりました。近年は北海道のルスツで開催されていましたが、本年は諸事情のため急遽開催場所が変更になり、これまで利用したことのない会場になったことなど不安要素はありましたが、プロフェッショナルな学会事務局運営チームや実行委員と順調に準備を重ねました。

参加者の募集を開始して数日後には、すでに予定した人数を上回る申し込みがあり、大変驚くとともに、このような会のニーズをあらためて実感しました。コロナ禍の反動で全国的に旅行者が増える中、事務局の方々に奔走いただいて近隣の宿泊ホテルを追加し、参加人数をできる限り増やした結果、過去最大規模の現地参加71名、Web参加47名を迎えることができました。しかし、会場運営の制約から、募集開始から短期間で締め切りになってしまい、参加希望者全員に現地参加いただけなかったことは大変申し訳なく、この場を借りて心よりお詫びいたします。来年以降、皮膚科に興味のある全国の研修医ができる限り参加できるよう、これまでにない規模でのサマースクール開催が検討されています。

1日目

初日、北海道大学の氏家教授ほかにご協力いただいた札幌グルメ情報を頼りに美味しいランチを堪能したであろう参加者が会場ホテルに集結しました。天谷理事長のご挨拶に熱心に耳を傾け、最初はやや緊張気味の参加者でしたが、自己紹介やダーモスコピーのセミナーを通じて徐々に打ち解けていきました。続いて、悪性黒色腫、白癬、フットケア、レーザーの分野でご活躍の先生方のレクチャーでは、皮膚科はやはり楽しいと感じる素晴らしい内容で、多くの質問が出ていました。そして、今やサマースクールの名物となった安部正敏先生による「皮膚科症例クイズ」です。プロフェッショナルな司会で会場は最大の盛り上がりを見せます。参加者の各チーム名は、「皮膚科や北海道にちなんだ面白い名前」にするよう条件が出されましたが、「かゆい恋人」「乾癬、白癬、今日海鮮」「さっぽろ一ま」など、なかなか秀逸な名前も多く飛び出し、ダーモカメラなど豪華な景品を前に、皆の笑顔が印象的でした。その後のQ and Aセッションでは、昨年に引き続き、匿名での質問を可能にするアプリを用いて、現地・Web参加者からの多様な質問に答えることができました。終了後は、参加者との個別相談会のほか、各々札幌の素敵な夜を過ごしました。



1日目、最初の講義はダーモスコピー。実機を使って、自分の肌をチェック。



もはや皮膚科サマースクール名物(?)となった皮膚科症例クイズ。安部正敏先生の絶妙な司会で会場は大盛り上がり。



参加者からの高い人気を誇る皮膚科縫合実習。チューターの先生方も教えることに熱が入ります。



Web参加者の集合写真



2日目

2日目はお揃いのスクラブで集合です。病理・電顕、アレルギー、皮膚科と研究などエキスパートによるレクチャーには多くの質問が飛び出しました。そして、豚皮を用いた皮膚外科ワークショップの時間です。皮膚外科チューターの指導のもと、真皮・表皮縫合から皮弁形成まで熱心にこなす参加者の姿が印象的でした。本年は、Web参加者も十分楽しんでもらえるようなプログラムにすることが一つの大きな目標でした。各セッションでWeb参加者へできるだけ声掛けするよう気を付けていただいたほか、皮膚外科実習の時間には、新たな試みとして、Webは別プログラムで糸結び選手権や皮弁デザイン実習を行っていただきました。現地とWebでの時間調整などが必要でしたが、WG委員やチューター、講師の先生方のご尽力で好評に終わることができたと思います。最後に、多彩な皮膚疾患、専門医制度、キャリアパス、皮膚科の魅力について、各エキスパートの先生方にお話しいただき、多くの質問を受けながら、全てのプログラムを予定通り終了しました。

最後に

全国から集まった熱意ある有望な研修医の多くが、この2日間で皮膚科の魅力を実感してくれたであろうと自負しています。また、この中から、次世代を担う皮膚科医が育っていくことを大いに期待しています。そして、何よりも団結してこのような会を企画・運営できる日本皮膚科学会の存在、そして、学会を軸に、所属の枠を超えた全国の皮膚科医が集まって、同じ思いで一緒に仕事できる日本の皮膚科医のつながりの素晴らしさを再認識しました。最後になりましたが、天谷理事長、多田キャリア支援委員会委員長、実行委員・講師・チューター・オブザーバーの先生方、そして、日本皮膚科学会事務局の皆様にご心より感謝いたします。来年も、皮膚科を候補の一つと考えている初期研修医を是非ご推薦いただき、皆様と札幌に集合できたらと願っています。

執筆者

第8回 皮膚科サマースクール
2023実行委員長

山口 由衣

横浜市立大学医学部
皮膚科学教室 主任教授スケジュール
表

Day 1

14:00~14:30	会場到着/受付等
14:30~14:40	開会挨拶/理事長挨拶 山口由衣先生/天谷雅行先生
14:40~15:10	自己紹介 20秒*69名(参加者) Online: 14:40~15:55
	自己紹介 20秒*36名(参加者) スクリーンショット撮影
15:10~15:50	見える皮膚科 ダーモスコピー 共通 インタロダクション+中継 古賀弘志先生
15:50~16:00	休憩
16:00~17:00	皮膚科ここが面白い (15分*4名) 共通 レクチャー 福島 聡先生/常深祐一先生/ 高山かおる先生/田中隆光先生
17:00~17:10	休憩
17:10~18:00	共通 皮膚科症例クイズ 安部正敏先生
18:00~19:00	夕食 Online 休憩 (video 上映)
19:00~20:00	共通 皮膚科 Q&A 神人正寿先生/山口由衣先生/ 柏田香代先生

※ 20:00~ 希望者にて相談会を行いました。

Day 2

8:30~8:50	共通 顕微鏡の世界が面白い 山本明美先生
8:50~9:10	共通 皮膚アレルギー 千貫祐子先生
9:10~9:30	共通 皮膚科と研究 木庭幸子先生
9:30~9:40	休憩
9:40~11:10	皮膚科医ここが面白い 皮膚外科ワークショップ 共通 インタロダクションレクチャー 浅井 純先生/福島 聡先生
	Online 企画 糸結び&皮弁デザイン講座
11:10~11:20	休憩
11:20~11:40	共通 バリエーションに富んだ皮膚疾患 氏家英之先生
11:40~12:00	共通 皮膚科専門医制度の概略 石河 晃先生
12:00~12:20	共通 皮膚科医のキャリアパス 運沼直子先生
12:20~12:40	共通 皮膚科の魅力~皮膚科ってこんな科~ 茂木精一郎先生
12:40~12:50	閉会の挨拶 多田弥生先生
12:50~13:00	集合写真 Online 終了